

平成30年7月2日

常陸太田市議会議長 益子 慎哉 様

常陸太田市議会

議会報告・意見交換会 班代表 益子 慎哉

「常陸太田市議会報告・意見交換会」報告書【水府地区】

1. 日 時

平成30年5月10日（木）午後7時から

2. 開催場所

水府総合センター 研修室

3. 報告・意見交換会対応議員

- ①益子 慎哉（議長）②成井 小太郎（副議長・広報委員長）③深谷 渉（文教民生委員長）
④藤田 謙二（議会運営委員長・文教民生副委員長）⑤高星 勝幸（総務委員長）
⑥木村 郁郎（産業建設委員長）⑦宇野 隆子（文教民生委員）⑧後藤 守（総務委員）
⑨川又 照雄（文教民生委員）⑩茅根 猛（総務委員）⑪諏訪 一則（総務委員）
⑫菊池 勝美（産業建設委員）

4. 参加者数 34人

5. 説明資料

別添 説明資料のとおり

6. 概要（総括）

広報委員長の進行により、出席議員の紹介、議長あいさつの後、議会報告・意見交換会に入った。

議会報告では、はじめに市議会の主な活動報告（議会運営委員長）、続いて常任委員会の平成29年度調査・研究の活動報告（各常任委員長）を行った。

報告に対する質疑では、総務委員会からの報告に対し、少子高齢化による課題に対して次回の報告会では対応策等を報告いただけるよう要望がされた。続いて、意見交換会のテーマであるまちづくり（地域コミュニティ等）について、資料に基づき説明（文教民生委員長）を行った後、2班に分かれて参加者と意見交換を行った。その後、各班から出された主な意見の発表を行い、今後の議会活動の議論・政策形成につなげていくこととし、最後に広報委員長が閉会に際しお礼を述べ終了した。

7. 意見・提起等

別添 議会報告・意見交換会における質疑応答・意見交換の内容のとおり

平成 30 年度議会報告・意見交換会 議会報告等終了後の質疑応答

【水府地区(H30.05.10)】

問 1 (要望) (質問者) 総務委員会から、少子・高齢化による今後の対応という報告がありましたが、要望として、その課題に対応する今後の対応策を次回の報告会で報告してほしい。

問 2 (要望) (質問者) ここは水府地区の会場ですので、水府の現状など話してもらいたい。また、水府地区は高齢化率が高いので、議員の皆さんからアドバイスとか提案などあれば今日来て良かったと思う。

問 3 (質問者) 産業建設委員会の報告のなかで、水府地区の報告会にもかかわらず里美地区のPRはいかがなものか。

回答 3 (議長) 全体的な話として、各委員会では調査項目を設け、一年間調査研究を行っている。産業建設委員会では、昨年、里美ふるさと振興公社について研究課題としていましたので、今年は、里美地区の観光施設の報告になっている。

問 3-1 (質問者) 今日は意見交換会なので、水府地区のデータは調べてはいないのか伺いたい。

回答 3-2 (産業建設委員長) 平成 29 年度は里美地区。平成 28 年度は水府振興公社の調査研究であるため、去年の報告会では、水府振興公社について説明をしたが、今のご意見をいただいたとおり、その地区のことについても、よく研究して皆さんに報告できるようにしていけたらと思う。

意見交換会の中での質疑

問 1 (質問者) 千寿町に行くと、牛込(松平町)から千寿に抜けたT字路は、高柿千寿線119号線になっていて、右折すると松平と表示が出ているが、松平の方からは何も出ていない。市の中で、そこに道路標示を付けるのであれば、松平の方にも、「千寿町や高柿町に抜けますよ。」というような表示をすべきである。

回答 執行部に確認(看板設置の方向で検討)

【水府地区】

平成30年度議会報告・意見交換会 「地域コミュニティ等」について

各班で出されました主な意見（集約）は次のとおりです。

A班

- ・町会長や公民館・社会福祉協議会の支部の方は、コミュニティを意識して活動しているが、今すぐ立ち上げなくても良いのではないかと。
- ・コミュニティについてのメリット・デメリットを示してほしい。そこでどう進んでいくか検討すべきである。
- ・今のうちに地域コミュニティ組織を作っておかないと、今後担い手がいなくてからでは大変であると思う。この組織の大切さを理解してもらうことが大事である。

B班

- ・将来に向けてのまちづくりのためにスタートした「地域コミュニティ」なのだから、各地区スムーズに進めてほしい。
- ・各地区における活動拠点の整備等、メリットがあれば組織づくりがスムーズに進むのではないかと。
- ・現在、地域コミュニティの組織づくりを進めているが、今まで一緒に進めてきた担当課長が異動してしまった。人事面での配慮が必要ではないかと。